

スマイル通信

第18号 平成22年10月29日発行

発行元:特定非営利活動法人スマイルネットワークさかい
理事長:田崎 健治
住所:〒919-0541 福井県坂井市坂井町東 24-22
Tel:0776-72-2282 Email:koryuctr@mx3.fctv.ne.jp
URL <http://www3.fctv.ne.jp/~koryuctr/>

家族1泊旅行に参加して

開所5年目の節目に、保護者会で三重県方面に1泊旅行に出かけました。川崎さんのお母さんに感想を寄せていただきました。

6月5、6日と親子バス旅行に参加しました。母子共に待ちに待った当日、日頃の行いが良いらしく(?)、暑いほどの快晴でした。

初めは知らない家族も座っていらして、人見知りの私は少々不安でしたが、バスが発車すればすぐ爆笑の連続。日頃感じている不安や将来のこと、兄弟のことなど、母親はおしゃべりに夢中。父親たちは後方の座席でまったりと缶ビール。子どもたちは車窓の景色に夢中で、あっという間に1日目の目的地「鈴鹿サーキット」に到着しました。

ラーメンやカレーなど子どもたちの好物でお腹を満たしたものの、たくさんの人混みの中で、待ち時間が1時間ばかり。USJや東京ディズニーランドのように療育手帳が使えず、ひたすら列に並ぶことに。母親たちは(私だけ?)はブーイングの嵐でしたが、子どもたちは怒ることなく終始笑顔でした。2、3か所しか乗り物に乗れなかったにもかかわらず、お父さんたちが用意してく

れた冷たい飲み物を発見!全員笑顔二重丸になりました。さすがお父さん!!

何事もなく無事宿に着き、夕食、お風呂のあと、ちょっとしたハプニングが…。我が子がいらない!さっきまで洗面所に…。オロオロする私に参加された方全員、子どもたちまで探して下さいました。が、すぐ廊下を一人でふら～と現われて、事無きをえました。皆さんの「よかったの～」の声に、一人じゃないんだ!と仲間がたくさんいるんだと感ずることができました。ドッキリの後のアルコールはとて…でした。

2日目はなばなの里園内を散策して、記念写真もバッチリ。あっという間の2日間でした。

とても楽しく、親睦を深く深くできた2日間が過ごせました。ありがとうございました。機会があれば、また次回もぜひ参加したい旅行でした。



第3回そよかぜサロン

6月27日(日)3回目となったそよかぜサロン。「親子で楽しく作っておいしく食べよう・食育活動」のテーマで高尾聖子さんをお招きし“びっくりおにぎり作り”を行いました。



●参加されたお母さんの声●

子どもが主になってできる料理の一品だなあと感じました。毎日の食生活は子に引き継がれる。我が家で何気なく作っている料理の味を子は覚え、子が親になった時、また同じ料理が子から子へ。食育のお話を聞き、生きていく中で毎日の食生活がいかに大切かを改めて学んだ気がします。そしてまた、同じ年のお友達もでき、次回の参加がまたまた楽しみになった我が子でした。



夏まつり

7月31日(土)暑い日でしたが保護者会の役員の方々が中心となり“お楽しみ夏まつり”を行いました。おなかいっぱい食べ、みんなで花火にヨーヨー釣りを楽しみました。



はっけい!スマイル関

8月8日(日)

保護者会の役員の方々が、今年も坂井町のかかしコンテストにかかしを出展しました。大関地区にちなんだ関取をモチーフに、子どもたちの健やかな成長を願って「スマイル関」が完成しました。



収穫祭

10月2日(土)秋晴れの少々日差しのきつい中、我が子と一緒にさつまいも掘りを楽しみました。今年はおぶりのいもが多かったですが、さつまいもの頭が見えると「あった！」と言って掘り出していました。

スマイルに戻ってからは、役員の方々が準備して下さった豚汁や焼きいか、焼きいもをおいしくいただきました。

毎年、親子でおいしい秋を味わうことができ、大変ありがたいです。さつまいもは今年で最後ということでもちょっと寂しいですが、来年は違う物で食欲の秋を満喫できたらいいなと密かに期待しています。その後のボランティアさん方の発表も楽しくて、子どももじっくり見ていました。いろいろとお世話して下さいました。皆さん、ありがとうございました。

(島田さんのお母さんより)



青空教室

10月3日(日)

今回はじめて青空教室に参加させていただきました。

10時から3時までということで、途中で飽きてしまうのではないかと少し不安でした。でもはじめてみると、楽しい手品に釘づけ。そしてみんなのとても明るい積極的な態度に驚きました。

ポイントゲームやグループごとの玉入れ、それに「あつとほうむ」の科学実験などもあり、子どもも大人もとても楽しむことができました。

日頃から、障害をもつ子たちにも参加できるレクリエーションがあるといいなと思っていたので、参加して良かったです。また、より多くの人たちに青空教室の存在を知ってもらえるといいなと思いました。

(千秋さんのお母さんより)

お手伝い・がんばり表の取り組み

子どもたちそれぞれの力に合わせ、毎日のお手伝いの内容とがんばる項目を決めています。お手伝い後にシール(トークン)をはり、シールが10個たまったらそれぞれのごほうび(強化子)が手に入ります。

初めはこちらの声かけで行っていた子どもたちも、ごほうびを手に入れるために、早くシールを集めようと自発的にお手伝いやがんばることに励むことができます。

一部の子でやっていた取り組みでしたが、それを見ていた他の子もやりたいと、6人もの子どもたちがこの取り組みに参加しています。

この方法をトークンシステムといい、視覚的に分かりやすく、目標に向けてがんばる気持ちと達成感からお手伝いへのやる気を向上させることができます。

こういった取り組みの中で、様々な活動を楽しんでいると感じてもらえたら、と思っています。(吉村)

エコキャップアート

福井県社会福祉協議会主催のこのコンテストにセンターからも作品を出展しました。キャップ集めに協力いただいた保護者のみなさん、ありがとうございました。



ありがとうございました

●赤い羽根共同募金

148,000 円の助成を受けてボールプールを購入しました。



●まごころ基金

150,000 円の助成金を頂くことができ、スノーレン室の備品を購入することができました。一度ご体験下さい。



今後の予定

- 11月14日(日) 第4回そよかぜサロン
- 12月下旬 クリスマス会
- 12月29日~1月5日 閉館
- 2月 第5回そよかぜサロン
第3回法人勉強会
- 3月中旬 利用契約書取りかわし

～編集後記～

平成23年度は新制度からの移行期間の最後の年になります。今後福祉政策はどう変わっていくのか、便利になっていくのか、そうではなくなっていくのか…。福祉サービスに関わる人、一人ひとりがその動きに関心を持ち、制度がどうなっていくのかをしっかりと学んでいかなければ、と感じます。(智)